

## 臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p>&lt;研究課題名&gt; メタボリックシンドロームが心房細動に対するカテーテルアブレーション後の左房リバーズリモデリングに及ぼす影響についての後向き研究</p>
<p>&lt;研究機関・研究責任者名&gt; 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者)門野 越</p>
<p>&lt;研究期間&gt; 承認日      ~      西暦 2019年 3月 31日</p>
<p>&lt;研究の目的と意義&gt; 本研究はメタボリックシンドローム(診断基準:ウエスト径が男性 85cm 以上・女性 90cm 以上かつ以下①-③のうち2項目以上を満たすもの①中性脂肪値 150mg/dl 以上または HDL コレステロール値 40mg/dl 未満, ②収縮期血圧 130mmHg 以上または拡張期血圧 85mmHg 以上, ③空腹時血糖値 110mg/dl 以上)がカテーテルアブレーション後の心房リモデリングに及ぼす影響を検討することを目的としています。心房細動の患者様では心房筋の線維化が起こりますが、線維化が心房細動単独によって起こっているのか、メタボリックシンドロームによって促進されているのかは解明されていません。メタボリックシンドロームが左房のリモデリングに与える影響を明らかにし、心房細動のマネジメントに生かすことができると考えています。</p>
<p>&lt;利用する試料・情報の項目&gt; カテーテルアブレーション治療を受けられた患者様の診療録、血液検査データ、心臓超音波検査記録を使用して研究を行います。なお、本研究では、必要な情報のみを統計資料として集計します。患者様のお名前や個人情報が明らかになることはございませんので、ご安心下さい。 本研究の対象となられる患者様で本研究にご賛同いただけない方は、下記の&lt;お問合せ窓口&gt;までご連絡下さい。</p>
<p>&lt;対象となる患者さん&gt; 西暦 2015年 4月 1日~西暦 2018年 9月 30日の期間に当院循環器内科で心房細動に対するカテーテルアブレーション治療をされた方</p>
<p>&lt;研究の方法&gt; 過去に行われた検査を診療録から調べる方法で行います。</p>
<p>&lt;お問い合わせ窓口&gt; 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 循環器内科                      氏名:門野 越 電話:03-3972-8111   内線:(医局)2412   (PHS)8695</p>